

施工要領書

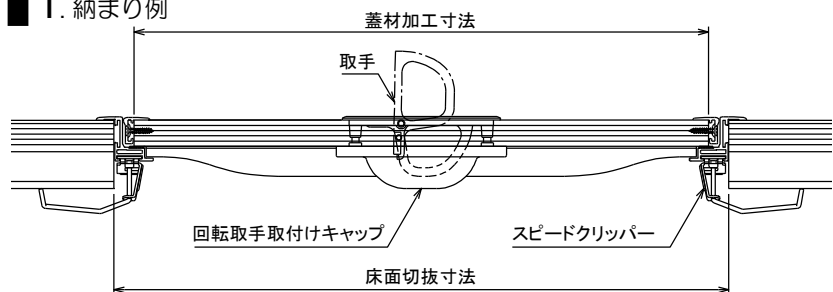


ホーム床点検口 SHW3 型・SHF3 型・SHN3 型・SHH3 型

！ 外枠をスピードクリッパーで取付ける場合 <外枠を外枠受け樹脂で取付ける場合は裏面をご覧ください>

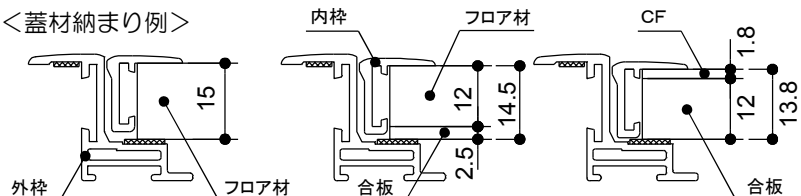
■ 付属部品明細書は裏面に記載してあります

1. 納まり例



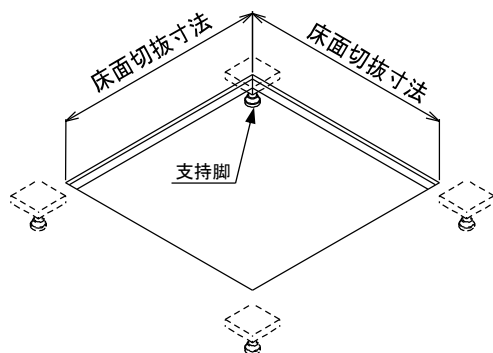
使用できる蓋材の厚さは 13.8~15mm です

< 蓋材納まり例 >



2. 床の開孔

① 床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開孔します。



△ 施工上のお願い

・床面は床面切抜寸法通りに開孔してください。スピードクリッパーが取り付けできず、強度が不足する場合があります。切抜寸法通りに開孔されない場合、点検口が破損するおそれがあります。(切抜寸法の目安許容範囲: +3mm/目安であり製品強度を保証するものではありません)
・開口部がひずまない十分な強度を持つように支持脚を設置してください。

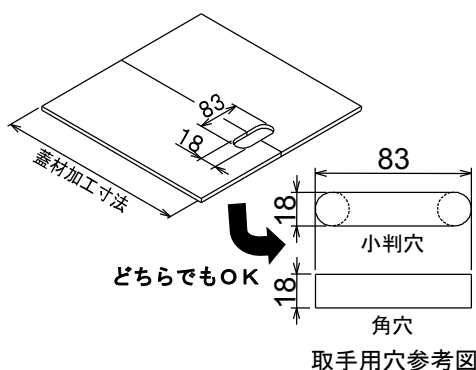
| 型 式 | 床面切抜寸法(mm) | 型 式 | 床面切抜寸法(mm) |
|------|------------|------|------------|
| 20 | 200×200 | 4145 | 410×450 |
| 2040 | 200×400 | 45 | 450×450 |
| 30 | 300×300 | 60 | 600×600 |

△ 改築の場合、下面の配管にご注意ください。

△ 開口部のまわりは、スピードクリッパー取付けの障害にならないように支持脚等を配置してください。

3. 蓋材の加工

① 蓋材加工寸法に蓋材(切抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口(18×83・小判穴または角穴)を設けます。



| 型 式 | 蓋材加工寸法(mm) |
|------|------------|
| 20 | 177×177 |
| 2040 | 177×377 |
| 30 | 277×277 |
| 4145 | 387×427 |
| 45 | 427×427 |
| 60 | 577×577 |

△ 施工上のお願い

蓋材は蓋材加工寸法通りに切断してください。内枠の変形や、強度が不足する場合があります。

△ 蓋材の厚みは、13.8~15mmになるようにしてください。

△ 板材で継目がある場合は、継目が中央にくるように切断してください。

△ 施工上のお願い

外枠額縁裏面の両面テープについて



指示に従い必ず守る

■ 外枠額縁裏面(4箇所)に貼られている両面テープは、外枠を最終的に取付ける際に剥離紙をはがしてください。
※剥離紙をはがさずに外枠を取付けると、音などの原因となります。

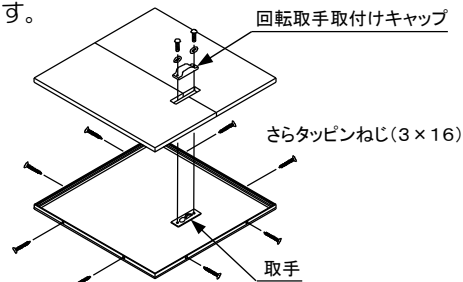


禁止

■ 外枠を仮止めする際に、外枠額縁裏面(4箇所)に貼られている両面テープの剥離紙を、はがさないでください。
※仮止めの際に剥離紙をはがしてしまうと、仕上げの際に外枠が外し難くなり、両面テープの接着力が損なわれる原因となります。

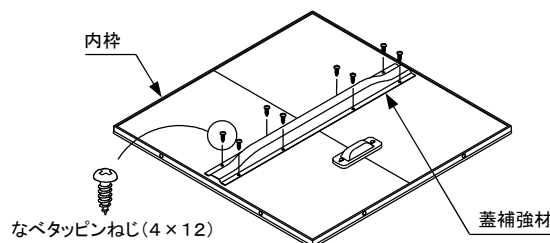
4. 蓋の組立て

- ① 内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。
- ② 内枠の外側から、内枠と蓋材をさらタッピンねじ(3×16)で固定します。
- ③ 蓋材になべ小ねじ(M4×16)で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。



5. 蓋補強材の取付け<4145型・45型・60型>

- ① 蓋補強材は、蓋材の裏面に、なべタッピンねじ(4×12)で固定してください。このとき、板の継目と直角になるようにしてください。



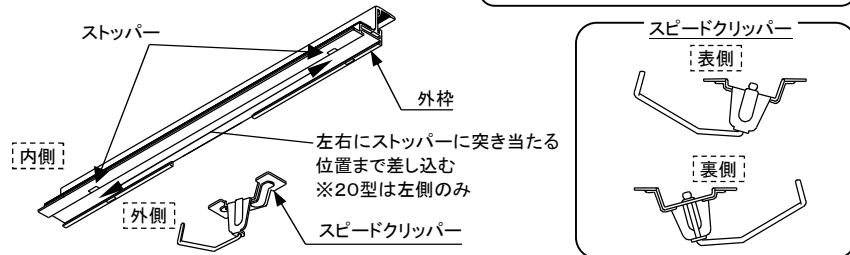
△ 蓋補強材は蓋材の中心にくるように取付けてください(図参照)。

6. 外枠の取付け

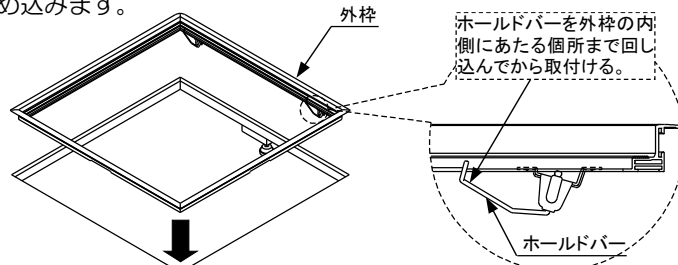
- ① スピードクリッパーを外枠外側の挿入口より、外枠の溝のストッパーに突き当たる位置まで差し込みます。
△ 20型は各辺1個ずつ(計4個)、60型は各辺2個(計8個)、その他の機種は対向2辺に2個ずつ(計4個)
△ スピードクリッパーの表側が外枠の内側を向くように差し込んでください。

△ 施工上のお願い

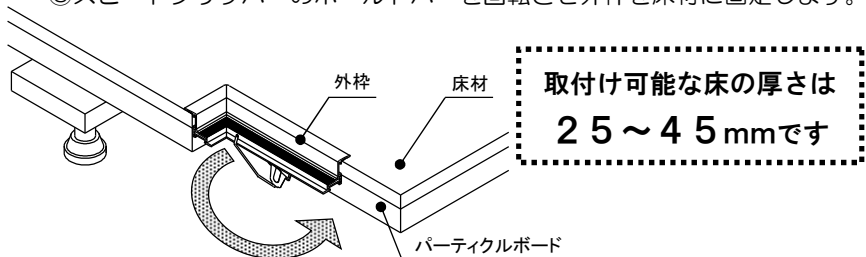
スピードクリッパーは必ず外枠の溝に入れ引掛してください。外枠を保持できない場合があります。



- ② スピードクリッパーのホルドバーを外枠の内側に当たるまでまわし、外枠額縁裏面の両面テープの剥離紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。



- ③ スピードクリッパーのホルドバーを回転させ外枠を床材に固定します。

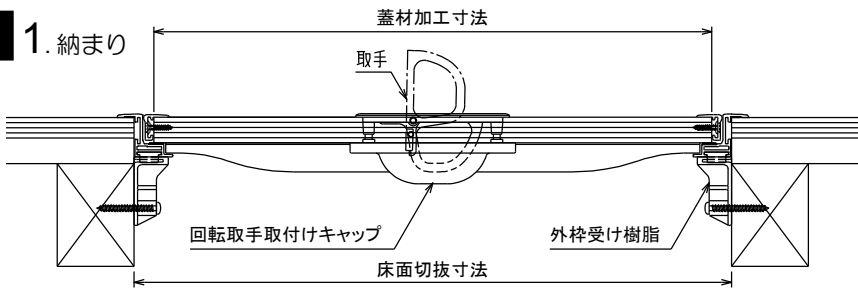


取付け可能な床の厚さは 25~45mmです

- スピードクリッパーの取付け位置は外枠の溝のストッパーに突き当たる位置にしてください。(4箇所)※60型は8箇所
- 額縁の裏側にある気密材(両面テープ付)が強く押されるように外枠を取り付けてください。気密性が低下する場合があります。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は2mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの粘着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難ですのでご注意ください。

! 外枠を外枠受け樹脂で取付ける場合 <外枠をスピードクリッパーで取付ける場合は裏面をご覧ください>

1. 納まり

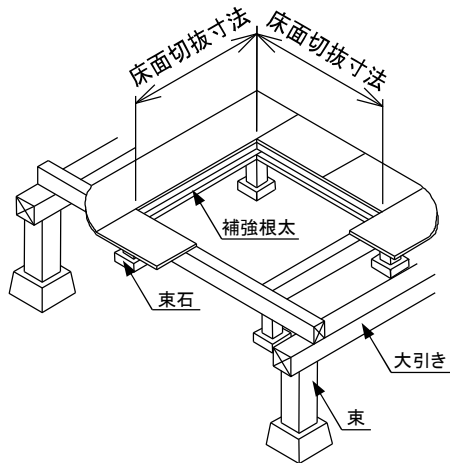


■ 付属部品明細表

| 付属部品名 | 入数 | | | | | |
|-----------------|----|------|----|------|----|----|
| | 20 | 2040 | 30 | 4145 | 45 | 60 |
| スピードクリッパー | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 8 |
| 外枠受け樹脂 | 4 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| なべタッピンねじ (4×35) | 4 | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 取手 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| 回転取手取付けキャップ | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 |
| なべ小ねじ (M4×16) | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| 平座金 (呼び径4) | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| さらタッピンねじ (3×16) | 4 | 6 | 8 | 8 | 8 | 8 |
| 蓋補強材 | - | - | - | 1 | 1 | 1 |
| なべタッピンねじ (4×12) | - | - | - | 8 | 8 | 8 |

2. 床組み

①床面切抜寸法で点検口を設置する床面を開口し、補強根太を全周にまわします。



△ 施工上のお願い

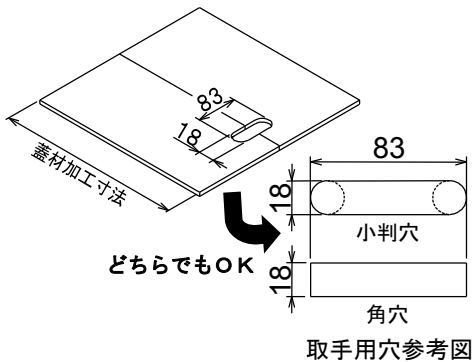
・床面は床面切抜寸法通りに開口してください。強度が不足する場合があります。
・束や補強根太等で、開口部がたわまないよう十分に補強をしてください。

| 型式 | 床面切抜寸法(mm) | 型式 | 床面切抜寸法(mm) |
|------|------------|------|------------|
| 20 | 200×200 | 4145 | 410×450 |
| 2040 | 200×400 | 45 | 450×450 |
| 30 | 300×300 | 60 | 600×600 |

△切抜いた床材は、蓋材に使用してください。
△改築の場合、下面の配管にご注意ください。

3. 蓋材の加工

①蓋材加工寸法に蓋材(切抜いた床材)を切断し、蓋補強材が当たらない位置に取手用の開口(18×83・小判穴または角穴)を設けます。



| 型式 | 蓋材加工寸法(mm) |
|------|------------|
| 20 | 177×177 |
| 2040 | 177×377 |
| 30 | 277×277 |
| 4145 | 387×427 |
| 45 | 427×427 |
| 60 | 577×577 |

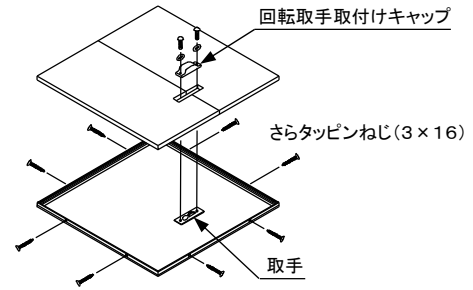
△ 施工上のお願い

蓋材は蓋材加工寸法通りに切断してください。内枠の変形や、強度が不足する場合があります。

△蓋材の厚みは、13.8~15mmになるようにしてください。
△板材で継目がある場合は、継目が中央にくるように切断してください。

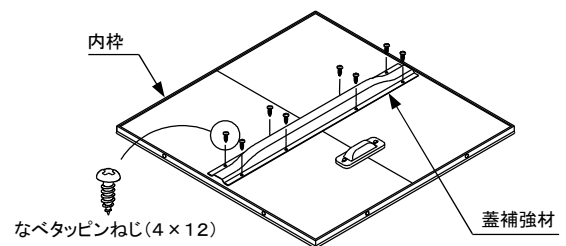
4. 蓋の組立て

- ①内枠を裏返し、加工した蓋材をはめ込みます。
- ②内枠の外側から、内枠と蓋材をさらタッピンねじ(3×16)で固定します。
- ③蓋材になべ小ねじ(M4×16)で取手と回転取手取付けキャップを取り付けます。



5. 蓋補強材の取付け<4145型・45型・60型>

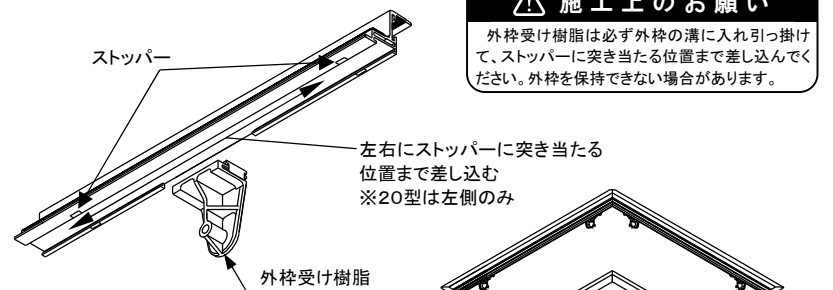
①蓋補強材は、蓋材の裏面に、なべタッピンねじ(4×12)で固定してください。このとき、板の継目と直角になるようにしてください。



△蓋補強材は蓋材の中心にくるように取付けてください(図参照)。

6. 外枠の取付け

- ①外枠受け樹脂を外枠外側の挿入口より、外枠の溝のストッパーに突き当たる位置まで差し込みます。
- △20型は各辺1個ずつ(計4個)、2040型は20側に1個と40側に2個(計6個)、その他の機種は各辺2個ずつ(計8個)

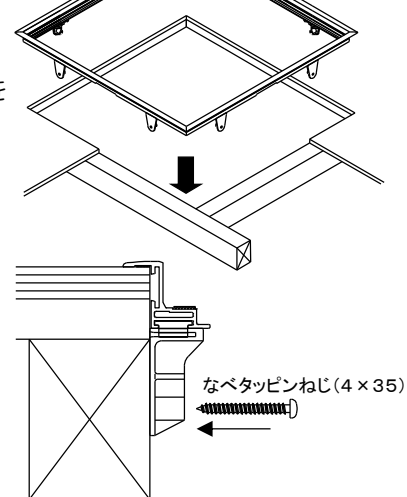


△ 施工上のお願い

外枠受け樹脂は必ず外枠の溝に入れ引っ掛けて、ストッパーに突き当たる位置まで差し込んでください。外枠を保持できない場合があります。

②外枠額縁裏面の両面テープの剥離紙をはがし、開口した床面に外枠をはめ込みます。

③外枠受け樹脂を根太に押し当てて、なべタッピンねじ(4×35)で固定します。



- 額縁の裏側にある気密材(両面テープ付)が強く押されるように外枠を取り付けてください。気密性が低下する場合があります。
- 蓋および外枠の加工寸法の対角寸法差は2mm以内としてください。
- 外枠をはめ込む際、開口部床面の汚れを拭き取ってください。汚れていると両面テープの粘着力が低下する恐れがあります。
- 外枠はめ込みの際は、一度接着すると位置の調整が困難ですのでご注意ください。

△ 使用上の注意

- 指づめ等の恐れがありますので、蓋を開けた際は横に置いてください。
- 床面や部材を傷つける恐れがありますので、横に置いた蓋の上にはのらないでください。
- 転倒や落下の恐れがありますので、使用後はすぐに蓋を閉めてください。



古紙配合率 70%
白色度 70%再生紙を使用しています